

埼 玉 県 獣医師会 会 報

は からない かんかい かんかん はんない かんかん はんない

第 662 号

平成30年12月20日編集

発 行 所

公益 埼玉県 獣医師 会社団法人 埼玉県 獣医師

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340 (埼玉県農業共済会館内)

電 話 048(645) 1 9 0 6 FAX 048(648) 1 8 6 5

E-mail:s-vma@vesta.ocn.ne.jp URL:http://www.saitama-vma.org/ 振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 髙 橋 三 男

編集責任者 大 橋 邦 啓

印刷所㈱アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会
を開催······ 1
平成30年度全国獣医師会会長会議開催される
2
日本獣医師会創立70周年記念事業開催される
3
テレビ埼玉で髙橋会長が新春年頭挨拶 4
会務報告
合同会議5
予告
さいたま市支部学術講習会のお知らせ6
南支部学術講習会のお知らせ6
南支部学術講習会のお知らせ7
西支部学術講習会のお知らせ7
新入会員報告
新入会員紹介8

○ひろば

日本獣医師会主催「2018動物感謝デー in
JAPAN開催される8
岩槻区民まつりで動物愛護などを啓発9
埼玉県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の
実施について10
お知らせ
所得税の確定申告並びに生前贈与・相続等の
個別相談会開催のお知らせ11
岐阜県畜産研究所において豚コレラが確認さ
れたことに伴う防疫対策の再徹底について
12
日本獣医師会からのお知らせ12
切り抜きニュース
○殺処分千頭未満に14
埼玉県獣医師会学術広報版15
事務局より
事務局メモ17
0.1= #.45==
○ 編集後記 ······ 18

公益社団法人 埼玉県獣医師会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会員は、それぞれの 職域において、その責務を遂行し、県民の福祉 増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま す。

わたくしたち埼玉県獣医師会員は

- 1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
- 1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
- 1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
- 1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
- 1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会を開催

平成30年11月25日(日)午後3時30分から、清水園(さいたま市大宮区)において「平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会」を開催しました。この講習会は、埼玉県獣医師会が市町村との契約に基づき実施している集合狂犬病予防注射を的確に実施するために開催するもので、「集合狂犬病予防注射実施要領」及び「同細部要領」に定められている教育研修に位

当日は創立70周年記念事業と兼ねての開催となり、集合狂犬病予防注射 実施予定者に加え、日本獣医師会藏内勇夫会長や、関東・東京地区の獣医 師会の会長をはじめとした御来賓も含め、526名もの皆様にご出席いただ きました。また、この講習会は日本獣医師会事業の関東地区獣医公衆衛生 講習会としても開催させていただきました。70周年記念事業の詳細は次号 会報で紹介させていただくこととし、今回は講習会の概要を報告します。

田中裕学術委員長の司会により進行され、髙橋三男会長の主催者あいさつに続き、渋谷正志狂犬病予防委員長から集合狂犬病予防注射の留意事項の説明の後、3名の講師の先生による講演が行われました。講師の先生の紹介はそれぞれにゆかりのある会員が務めました。



講師:日本獣医師会副会長、元日本大学総長酒井健夫様

講師紹介:長谷川繁雄先生(東支部)

2 演 題:二次診療、高度獣医療の実態と今後の展望

講師:東京大学教授、前東京大学付属動物医療センター長

辻本 元 様

講師紹介: 髙橋一成先生(さいたま市支部)

3 演 題:地方から日本を変える

置付けられております。

講師:埼玉県知事 上田清司 様講師紹介:岩田信之先生(農林支部)



日本獣医師会副会長 酒井健夫 梯



東京大学教授 辻本 元 様



埼玉県知事 上田清司 様



上田知事には時に身振りを交えた熱心な講演をしていただきました。

平成30年度全国獣医師会会長会議開催される



常設議長としてあいさつする髙橋三男埼玉県獣医師会会長 右は副議長の玉井公宏和歌山県獣医師会会長

平成30年度全国獣医師会会長会議が平成30年11月30日(金)午前10時から、東京都千代田区のパレスホテル東京「葵」において開催されました。

会議では、冒頭、主催者として藏内勇夫日本獣医師会会長、続いて北村直人日本獣医師会顧問(日本獣医師連盟委員長)が挨拶をしました。その後、議長として常設議長3期6年目の髙橋三男会長が紹介されました。副議長は昨年就任した和歌山県の玉井公宏会長が紹介され議事に入りました。

議事では、まず「説明・報告事項」として、①北海道胆振東部地震に関する件、②日本獣医師会創立70周年記念行事に関する件、③2018動物感謝デーin JAPAN "World Veterinary Day"の開催に関する件、④日本獣医師会獣医学術学会年次大会の開催に関する件、⑤動物愛護法改正によるマイクロチップ装着義務化等への対応に関する件、⑥プライバシーマーク取得に関する件、⑦世界獣医師会、アジア獣医師会連合等の活動報告に関する件、⑧その他の報告・連絡事項について、境政人専務理事から報告と説明がありました。

その後は、連絡事項として当面の主要会議等の開催計画に関する件、日本獣医師連盟の活動報告について 説明がありましたが、髙橋会長は議長として、限られた時間の中で各地方会会長から有意義な質問や意見を 引き出すとともに、執行部から適切な回答を引き出すために、最適な対応者を指名するなど、円滑な運営に 務め、議事を終了しました。会議終了後は午後2時から、同ホテルの隣室において「日本獣医師会創立70周 年記念行事が開催されました。



全国獣医師会会長会議常設議長として議事を進行する髙橋三男埼玉県獣医師会会長

(公社)日本獣医師会創立70周年記念行事 開催される

平成30年11月30日(金)、午前10時から、東京都千代田区のパレスホテル東京において多くのご来賓の臨 席の下、全国各地の獣医師会関係者、関係団体、企業関係者等約400名が集い、(公社)日本獣医師会の創立 70周年記念行事が開催されました。

1 記念式典(14:00~15:30)

式典は、 農水大臣、厚労大臣、 環境大臣をはじめ、多くの国会議員、省庁関係者のご臨席の中で開催 さて、多年にわたり獣医学術の振興・普及、獣医事の向上、動物福祉の増進、獣医師会の発展等にご尽力 された功労者の表彰が行われました。

この栄えある式典で埼玉県獣医師会から5名の会員の先生方が大臣賞を始め各種受賞の栄に浴されまし た。受賞された先生方におかれましては大変おめでとうございました。今後一層のご活躍をご祈念申し上 げます。



開会のあいさつをする藏内勇夫日本獣医師会会長、右から3人目髙橋三男会長

受賞された先生(敬称略)

厚生労働大臣感謝状

環境大臣感謝状

中村 滋(東支部) 小暮一雄(西支部)

日本獣医師会会長表彰状 林 繁雄(農林支部)

水島健雄 (農林支部)

日本獣医師会会長感謝状 山根康義(団体支部)



左から 小暮一雄副会長、藏内勇夫日本獣医師会会長 髙橋三男会長、中村滋副会長、林繁雄理事

2 記念講演(15:45~16:30)

演題 「健康長寿社会に向けて」

講師 日本医師会会長・世界獣医師会前会長 横倉義武 先生

3 記念祝賀会(16:45~19:00)

記念講演会終了後、創立70周年を祝し、記念祝賀会が盛大に開催されました。

乾杯では髙橋三男会長も全国獣医師会長会議常設議長として登壇し、世界獣医師会ジョンソン・チャン会長とともに乾杯をしました。



左から 麻生太郎獣医師問題議員連盟会長代理上野秘書、髙橋三男会長、北村直人日本獣医師会顧問 森英介獣医師問題議員連盟幹事長・衆議院議員、ジョンソン・チャン世界獣医師会会長 藏内勇夫日本獣医師会会長

----- テレビ埼玉で放映 -----

髙橋会長「彩の国」新春年頭挨拶

とき…平成31年1月2日(水) 午前11時55分~12時00分 テレビ埼玉



会務報告

合同会議

平成30年11月25日(日)午前11時から、さいたま市大宮区「清水園」において、第4回理事会(創立70周年記念事業実行委員会)、第4会総務委員会、第2回狂犬病予防委員会の合同委員会を開催し、当日午後から開催される、創立70周年記念事業及び平成30年度集合狂犬病予防注射実施者講習会の受付業務や進行計画などについて協議し、その手順や役割分担について確認した。

また、狂犬病予防委員会では、平成31年度集合狂犬病予防注射実施スケジュール(案)について、提出書類の内容や今後のスケジュール等について協議した。



わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。











神奈川:046-221-0620 山梨:055-224-5278 群馬:027-230-3322 東京:042-564-2381 埼玉:04-2968-0881 三郷:048-948-2112 栃木:028-666-3399 茨城:0296-43-1661 成田:0476-40-5811 茂原:0475-24-1613

さいたま市支部学術講習会のお知らせ 予告 告

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(3))

さいたま市支部長 山中 利之 学術委員 土谷

さいたま市支部では、平成31年1月20日(日) TRVA 夜間救急動物医療センター 副院長 途木 貴臣 先生をお招きして「救急診療のオキテ」と題しまして、救急診療の基本的な考え方や症例を見逃さないため の見極め方をメインに、救急におけるエコー検査などのトピックも交えながら、動画や画像を使ってレク チャーしていただく予定となっております。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

時: 平成31年1月20日(日) 日

 $13:30\sim17:00$

場 所:WithYouさいたま 視聴覚セミナー室

> (ブリランテ武蔵野4F) さいたま市中央区新都心2-2 TEL 048-601-3111

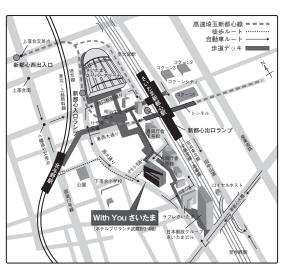
演:「救急診療のオキテ」 講

講 師:TRVA 夜間救急動物医療センター

副院長 塗木 貴臣 先生

参加 費:埼玉県獣医師会会員 無料

会員以外の受講者 5,000円



南支部学術講習会のお知らせ

(協替DSファーマアニマルヘルス株式会社)

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小3(6))

南支部長田中 学術委員 大野

南支部では、1月20日(日)に学術講習会「協賛DSファーマアニマルヘルス(株)」を開催します。講師 の先生は、酪農学園大学 獣医学類 伴侶動物内科学ユニットII准教授 堀 泰智先生をお招きいたします。 テーマは「犬の僧帽弁閉鎖不全症の診療アップデート」です。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時:平成31年1月20日(日)

14:30~17:10 (受付14:00~)

場 所:TKPガーデンシティPREMIUM大宮 ホール2G

さいたま市大宮区桜木町4-333-13 OLSビル

TEL 048-640-1381

演 題:「犬の僧帽弁閉鎖不全症の診療アップデート」

師: 酪農学園大学 獣医学類 伴侶動物内科学ユニットII 講

准教授 堀 泰智 先生

숲 費:埼玉県獣医師会会員 無料

会員外 無料



南支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小1(3) 小1(5))

南支部長 田中 裕 学術委員 大野 潤 開業部会第一運営委員 宗像 俊太郎

南支部では、来年2月11日(月・祝)に学術講習会を開催致します。

講師の先生はカルフォルニア大学デイビス校(University of California, Davis)にいらっしゃった田中亜 紀先生をお招き致します。先生はシェルターメディスンの専門家で、災害が起きたときに我々が実際どう動 いたらよいかという具体的なお話をして頂きます。防災意識向上のためにも多くの方々のご参加をお待ちし ております。

日 時:平成31年2月11日(月・祝)

 $13:30\sim16:30$

場 所:埼玉会館 2Fラウンジ

さいたま市浦和区高砂3-1-4 TEL 048-829-2471

演 題:「災害時の動物管理について」

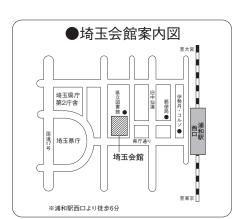
講師:カルフォルニア大学デイビス校

日本獣医生命科学大学ポストドクター 田中亜紀 先生

対 象:獣医師、動物看護師、県内自治体職員

参加費:埼玉県獣医師会会員 無料

会員病院勤務の獣医師、看護師 無料 県内自治体職員 無料 上記以外の受講者 5.000円



西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4))

西支部長 別部 博司学術委員 佐藤 博司

西支部では、2019年3月3日(日)に日本獣医生命科学大学の水越美奈先生をお招きして「初めての行動治療学~診断から薬物療法まで~」の演題で学術講習を開催します。特に診断までの過程と治療について、「飼主への攻撃」「高齢性認知機能不全」を例にとりながら詳しくお伝えします。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時:平成31年3月3日(日)

13:30~16:30 (13:00受付)

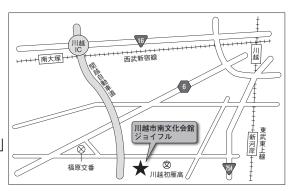
場 所:川越南文化会館(ジョイフル)

川越市今福1295-2 TEL 049-248-4115

演 題:「初めての行動治療学~診断から薬物療法まで~」

講 師:日本獣医生命科学大学 准教授 水越美奈先生

参加費: 埼玉県獣医師会会員 無料 会員以外の受講者 5,000円



新入会員報告

新入会員



小林 夕香利 団体支部

勤務部会

支 部 名	氏 名	診療所所在地・名称
団体	小 林 夕香利	加須市・高橋動物病院

ひろば

日本獣医師会主催 2018動物感謝デー in JAPAN 開催される

平成30年12月1日(土)、日本獣医師会主催による2018動物感謝デーin JAPANが東京都世田谷区の二子 玉川ライズで開催されました。

この動物感謝デーは、獣医師が活躍する多様な職域や獣医療の社会的役割について国民に理解を深めてもらうとともに、動物の福祉と愛護精神の高揚を通じて人と動物が共存する豊かな社会の形成を目的に、地方獣医師会や関連団体が協賛して2007年以降開催されており、従来は駒沢オリンピック公園で開催されていました。今年は日本獣医師会創立70周年記念事業との兼ね合いでこの時期の開催となったため、同じ世田谷区内で場所を変えての開催となり、会場の制約の関係で残念ながらの当会の出展は見合わることになりました。

午前10時からの開会式では、主催者を代表して藏内勇夫日本獣医師会会長が挨拶し、来賓の国会議員の祝辞や紹介がありました。続いて、本会会員で諏訪流放鷹術保存会鷹匠、大橋邦啓先生(北支部)による放鷹術が披露され、鷹のハリスホーク号が開会宣言文をステージまで運びました。



開会式で挨拶する藏内勇夫日本獣医師会会長



開会宣言を運んだ鷹のハリスホーク号と 大橋邦啓先生(北支部)

第14回岩槻区民まつりで動物愛護などを啓発

「第14回岩槻区民やまぶきまつり」が、商工業や農業、福祉、医療など多くの関連団体が参加して、10月 14日(日)にさいたま市の岩槻文化公園で開催されました。

さいたま市支部と埼玉県動物指導センターがこのまつりに参加し、多くの会員の先生が動物の福祉や愛護について啓発活動を行いました。また、大橋邦啓先生(北支部)が代表を務める放鷹義塾も放鷹実演などで活躍されました。

開会式では、髙橋三男実行委員長による主催者挨拶、来賓の祝辞の後、大橋先生が操る鷹が清水勇人さいたま市長に開会宣言を届けました。

さいたま市支部岩槻分会では、盲導犬や聴導犬によるデモンストレーションを開催するとともに、屋外のブースでは、盲導犬や聴導犬の育成のための募金活動を行っていました。募金をした皆様に協賛企業から提供していただいた品をプレゼントする抽選会を行いながら、盲導犬や聴導犬の役割を分かりやすく説明しており、ブースの前には長い行列ができていました。動物指導センターはペット防災コーナーを設置し、マイクロチップの読み取り体験などでペットに係る防災意識の向上を呼び掛けていました。また会場内では放鷹実演や鷹匠体験、加藤牧場(入間市)のアイスクリームの販売も行われ、約50,000人の来場者で賑わっていました。



髙橋三男会長による主催者あいさつ 中央は清水勇人さいたま市長



動物指導センターのブース前で髙橋三男会長を囲む 県保健医療部幹部職員(衛生支部)



多くの来場者で賑わうさいたま市支部のブース

また、11月3日(土)の文化の日には髙橋三男会長が実行委員長となり、第6回岩槻鷹狩行列が開催されました。徳川家康が鷹狩りで岩槻城を訪れて庶民の声を聴いたという言い伝えが再現され、19,000人の来場者を魅了しました。

大橋邦啓先生はこちらでも鷹匠として大活躍をしていました。また13階建てのホテルの最上階から放たれた鷹が、我が国女性鷹匠の若きリーダー石橋美里さんの腕に舞い降り、喝采を受けていました。

会場にはさいたまクリテリウムに出場する世界のトップクラスの自転車競技選手が5名訪れ、放鷹技術の デモンストレーションに参加し、腕に止まった鷹を興味深げに眺めていました。



右から 実行委員長の髙橋会長、鷹が運ぶメッセージを 受け取る清水市長、大橋邦啓先生(北支部)



髙橋会長とさいたま観光国際協会の協力で 来場したさいたまクリテリウム出場選手

埼玉県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習の実施について

埼玉県農林部畜産安全課

県では、高病原性鳥インフルエンザ(以下、「HPAI」という。)の発生に備えるため、平成30年10月30日(火)に埼玉県県民活動総合センター(伊奈町)において防疫演習を実施しました。

今年は、26年ぶりに豚コレラが国内発生し、アフリカ豚コレラが中国でまん延するなど、特定家畜伝染病の発生に備えた対応を再確認する良い時期でもあり、生産者や、獣医師、行政機関、関係団体などから多くの方にご参加いただきました。

参加者には、机上演習と実地演習を通じてHPAIの基礎知識や防疫対応の手順について、理解を深めてもらいました。

このような演習は、反復継続して実施することが大切であるため、今後も定期的に実施し、防疫体制強化 に努めてまいります。

(実地日時

平成30年10月30日 (火) 10:00~15:45

〇 内容

1 机上演習

HPAIの症状や発生状況、関連法規、異常発見から防疫措置終了までの対応、生産者への補償・支援 について、スライドを用いて、説明を行いました。

2 実地演習

参加者は、室内で感染防護のための正しい防護服の着脱方法の説明を受けた後、実際に着用してもらい、屋外グラウンドに移動した上で、生きた鶏を用いたケージからの取出しを体験してもらいました。

○ 参加者

118名

(内訳:家きん飼養者8名、関係団体19名、獣医師1名、市町村14名、県67名、国・他県9名)



防護服の着衣演習



生きた鶏を用いたケージからの取り出し演習

お知らせ

所得税の確定申告並びに生前贈与・相続等の 個別相談会開催のお知らせ

埼玉県獣医師会では、下記のとおり顧問税理士による個別相談会を開催いたします。 ご希望の先生は、1月31日(木)までに事務局にご連絡下さい。

記

日 時 平成31年2月6日(水)

- ①午前10時~ ②午前11時~ ③午後1時~
- ④午後2時~ ⑤午後3時~
- ※個別相談となるため、希望者はあらかじめ埼玉県獣医師会事務局までご希望の時間を連絡して下さい。

なお、希望時間が重複する場合には調整させていただきます。

また、希望者多数の場合は、別の日時での開催を検討いたします。

場 所 さいたま市 埼玉県農業共済会館 2階 206会議室

対 象 者 ア 開業支部会員(相談内容 i に関して)

イ 全 会 員(相談内容 ii に関して)

※「ア」、「イ」とも税理士の関与がない先生を優先

相談内容 i 獣医業に関する個人の確定申告(平成30年分)

ii 生前贈与·相続等

对 応 者 埼玉県獣医師会 顧問税理士 間嶋順一先生

事前準備 相談に必要な資料等事前準備をしていただく必要がありますので個別相談を希望した先生に は、後日ご連絡いたします。

畜安第640-3号 平成30年12月6日

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会長 髙橋 三男 様

> 埼玉県農林部畜産安全課 課長 丸山 盛司(公印省略)

岐阜県畜産研究所において豚コレラが確認されたことに伴う 防疫対策の再徹底について(通知)

日頃、本県の家畜衛生行政の推進につきまして、御理解、御協力いただき感謝申し上げます。

豚コレラをはじめ、口蹄疫、アフリカ豚コレラ、高病原性鳥インフルエンザ等については畜産業に重大な影響を与える家畜伝染病であることから、その防疫対策の強化、万が一の発生時のまん延防止対策の徹底等について、お願いしてきたところです。

一方、本年9月以降、岐阜県で豚コレラの発生が続いており、12月5日には岐阜県畜産研究所の飼養する豚で発生が確認されたところです。

これを受け、別添写しのとおり平成30年12月5日付け30消安第4418号により農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知がありました。

つきましては、貴会会員等に周知のうえ、防疫対策の再徹底について御理解、御協力いただきますよう、改めてお願い申し上げます。

※別添省略

30日獣発第234号 平成30年12月5日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会 会長 藏 内 勇 夫 (公印及び契印の押印は省略)

第70回獣医師国家試験の実施について

このことについて、平成30年10月26日付け30獣審第16号をもって、獣医事審議会会長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、平成30年10月23日付け官報第7373号で公告された、第70回獣医師国家試験の開催 (試験日は平成31年2月19・20日) について連絡するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事 務 連 絡 平成30年12月5日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会 専務理事 境 政 人

岐阜県内の動物取扱業者の事業所における豚コレラ陽性事例に伴う 展示動物やペットの飼養にかかる対応について(再度の注意喚起)

このことについて、平成30年11月16日付け事務連絡をもって、環境省自然環境局総務課動物愛護管理 室長から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、岐阜市の畜産センター公園における豚コレラの陽性事例の確認に伴い、発生地及び周辺の4県(岐阜、愛知、三重及び滋賀)内の動物愛護管理主管課(室)長あて、展示動物やペットとして本疾病に感受性のある豚(ミニブタを含む。)及びイノシシを取り扱う動物取扱業者等に対し、当該動物の健康状態に留意する旨周知するとともに、同業者等から当該動物の死亡数の増加等の異常があった旨報告を受けた際の速やかな農林部局との連携等について依頼したことについて、連絡されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

事 務 連 絡 平成30年12月6日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会 専務理事 境 政 人

動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する 省令の制定について

このことについて、平成30年11月15日付け事務連絡をもって、農林水産省・消費安全局畜水産安全管理課課長補佐から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年 法律第145号)第83条の4第1項の規定に基づき、動物用医薬品及び医薬品の使用の規制に関する省令の一部を改正する省令(平成30年農林水産省令第72号)が公布・施行され、①ジョサマイシンを有効成分とする動物用医薬品は、全て製造販売承認が整理されており、販売されていないため、本成分を有効成分とする飼料添加物の使用者が遵守すべき基準を削除したこと、②「プレドニゾロンを有効成分とする注射剤」について、「動物用医薬品使用対象動物」、「用法及び用量」及び「使用禁止期間」が設定(乳、馬、豚については、現行の休薬期間より短い使用禁止期間を設定)されたことについて本会に連絡されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

保護犬、猫の譲渡推進

、時の2%に減少

5年度 (4万3548頭)の2%に減少した。 頭(犬241頭、猫672頭)で初めて千頭 頭を目標に掲げている。 県の5カ年計画では21年度の殺処分数600 保護犬、猫の周知と理解促進を図っている。 渡を推進。本年度からは県庁で譲渡会を開き、 県は動物愛護団体と連携し、保護犬、猫の譲 当たりの殺処分数は1・49頭で、全国で6番 県生活衛生課によると、17年度の人口1万人 **未満となり、殺処分数が最も多かった198** 目に少なかった。「殺処分数ゼロ」を目指す 県の2017年度の犬猫殺処分数は913 (丹羽良平)

象となるのは、保健所で保護 免疫力が備わらないという。 猫は母親からの授乳がないと 動物指導センターで保護され されている高齢の迷子犬や、 ている親とはぐれた野良猫の 子どもなど。生後間もない子 殺処分の対象になりかねな 同課によると、殺処分の対一い命を守るために、県では放 |を産ませる予定のない犬猫の |猫1277頭) に減った。 1万287頭から、17年度に | 護犬、猫の収用数は06年度の |の啓発に取り組んでいる。 保 去勢・避妊手術を勧めるなど し飼いのリスク周知や子ども は2496頭(犬1219頭、 | PRするとともに、譲渡の機 い」(同課)という。 | など、「負担は決して軽くな で、世話や譲渡会の会場探し |団体は譲渡会を開催する一方 団体として活動している。各 運を高めようと、本年度から 県庁などで譲渡会を開始し し、現在は39団体が認定譲渡 県は認定譲渡団体の活動を

たな飼い主に譲渡された。 が動物愛護団体を経由して新 3頭中552頭 (75·3%) %) の10倍以上に増加。73 率は約45%で、06年度(約4 新たな飼い主に渡った。譲渡 中死亡(186頭)を除いた に保護犬の飼い主探しの協力 1637頭のうち733頭が この2496頭から飼い主 た。これまで3回開催し、各 県は06年度に動物愛護団体

る。 頭で新たな飼い主が見つかっ 千人が来場し、犬12頭、 家族構成など飼育適性を審査 た。飼育希望者の居住環境や し、譲渡の可否を判断してい 同課は「保護犬、猫につい

への返還(673頭)と収容 | 回に5~7団体が参加。 計約 | 展開するとしている。

を求める認定譲渡制度を導入

市町村や民間企業との連携を 選択肢の一つとして考えてほ 渡活動の拡大に向け、今後は しい」と呼び掛ける。県は譲 て知っていただき、飼う際の

平成30年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成30年12月20日現在)

年 月 日	産業動物	小 動 物	公 衆 衛 生
4月			
5月			
6月15日(金) ~17日(日)		全会/第108回日本獣医循環器学会/第63回日本 合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ	
7月1日(日)		南支部 「手術の基本とアップデート」 日本大学 浅野 和之 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
7月16日 (月・祝)		東支部 「猫のリンパ腫2018」 日本小動物がんセンター 小林哲也 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
7月29日(日)		北支部 「犬の正常を知る」 アニマルクリニックこばやし 小林孝之 先生 (深谷市 埼玉グランドホテル深谷)	
8月			
9月9日(日)	平成30年度 関東・東京	京合同地区獣医師大会(茨城)獣医学術関東・東 (茨城県つくば市 つくば国際会議場)	京合同地区学会
9月30日(日)		西支部 「家庭動物の終末期獣医療におけるアジェンダ」 「ホームドクターによるイヌの僧房弁逸脱症の臨床」 所沢愛犬病院 小暮 一雄 先生 (東松山市 ホテル紫雲閣)	
10月19日(金)	北支部・しゃくなげ会 「酪農場ベンチマーキングについて」 千葉県農業共済組合連合会 清水 秀茂 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月21日(日)		東支部 「犬の蛋白漏出性腸症 UPDATE2018」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
11月4日(日)		南支部 「犬と猫の消化器の超音波画像診断」 どうぶつの総合病院 福田 祥子 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
12月9日(日)		北支部 「疼痛を主徴とする神経筋疾患の診断と治療」 獣医神経病クリニックACORN 奥野 征一 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	
12月9日(日)		東支部 「犬と猫の糖尿病の維持管理、糖尿病性ケトアシドーシス」 まつき動物病院 松木 直章 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月21日(金)	農林支部 平成30年度埼玉県家畜保健衛 生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成31年 1月20日(日)		さいたま市支部 「救急診療のオキテ」 TRVA夜間救急動物医療センター 塗木 貴臣 先生 (さいたま市 With You さいたま)	

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
1月20日(日)		南支部 「犬の僧帽弁閉鎖不全症の診療アップデート」 酪農学園大学 堀 泰智 先生 (さいたま市 TKPガーデンシティPREMIUM大宮)	
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
2月8日(金) ~10日(日)	平成30年月	度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(神奈) (新横浜プリンスホテル)]])
2月11日 (月・祝)		南支部 「災害時の動物管理について」 カルフォルニア大学 田中 亜紀 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
3月3日(日)		西支部 「初めての行動治療学~診断から薬物療法まで~」 日本獣医生命科学大学 水越美奈 先生 (川越市 川越南文化会館)	
3月17日(日)		さいたま市支部 「演題 未定」 講師 未定 (場所 未定)	
3月17日(日)		西支部 「演題 未定」 どうぶつの総合病院 金園 晨一 先生 (川越市 川越南文化会館)	

広告



伝える・伝わる支援の専門集団

株式会社アサヒコミュニケーションズ アサコミ 埼玉県鴻巣市本町4-3-23 Tel.048-541-5152 www.asahi-com.net

Q 検索

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL http://www.saitama-vma.org/

ID: SVMA(半角・大文字) パスワード: MITSUO(半角・大文字)

- 11月16日 第8回日本医師会・日本獣医師会連携シンポジウム (東京都文京区)
- 11月25日 埼玉県獣医師会創立70周年記念式典、記念講演会、祝賀会(さいたま市 清水園)
- 11月25日 集合狂犬病予防注射実施者講習会(さいたま市 清水園)
- 11月30日 平成30年度全国獣医師会会長会議(東京都千代田区 パレスホテル東京)
- 11月30日 日本獣医師会創立70周年記念事業(東京都千代田区 パレスホテル東京)
- 12月1日 2018動物感謝デー in JAPAN (東京都 世田谷区 二子玉川ライズ)
- 12月3日 テレビ埼玉新春年頭挨拶収録(さいたま市 浦和ロイヤルパインズホテル)
- 12月9日 東支部学術講習会(越谷市 越谷サンシティ)
- 12月9日 北支部学術講習会 (深谷市 深谷男女 共同参画推進センター)
- 12月10日 埼玉県畜産会役員会(熊谷市 ホテル ヘリテイジ)
- 12月12日 第5回理事会(さいたま市 寿々家)
- 12月21日 平成30年度埼玉県保健衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)

平成31年

- 1月2日 新春年頭挨拶放映(テレビ埼玉)
- 1月17日 知事と農林水産団体長との懇談会(さいたま市 知事公館)
- 1月20日 さいたま市支部学術講習会(さいたま市 With Youさいたま)

- 1月20日 南支部学術講習会(さいたま市 TKPガーデンシティPREMIUM大宮)
- 1月20日 西支部新年会 (川越市 川越東武ホテル)
- 1月23日 埼玉県狂犬病予防協会研修会(桶川市 さいたま文学館)
- 1月27日 東支部新年会(越谷市 越谷サンシティ)
- 2月8日 日本獣医師連盟通常総会(横浜市 新 横浜グレイスホテル)
- 2月8日~10日 日本獣医師会獣医学術学会年次 大会(横浜市 新横浜プリンスホテル)
- 2月11日 南支部学術講習会(さいたま市 埼玉 会館)
- 2月15日~17日 第15回日本獣医内科学アカデ ミー学術大会(横浜市 パシフィコ横 浜)
- 2月24日 ボウリング大会(浦和国際ボウル)
- 3月3日 関東・東京合同地区獣医師会理事会 (茨城県水戸市 三の丸ホテル)
- 3月3日 西支部学術講習会(川越市 川越南文 化会館)
- 3月17日 西支部学術講習会(川越市 川越南文 化会館)
- 3月17日 さいたま市支部学術講習会(場所未定)

編集後記

大陸からの高気圧の張り出しが日本列島を覆い、頬に刺さるような寒さを感じる頃となりました。この時期、秋田県から富山県にかけての日本海沿岸では、朝鮮半島や大陸からの木造船が漂着したことが報じられます。このような時、天山山脈の麓やモンゴル高原を馬に乗って縦横に行き来していた、我らが遠い先祖が大陸の果てで馬から降り、舟に乗り冒険の旅に出てこの列島に渡来したときのことに思いを馳せてしまいます。懐かしさから思わずこの寒気を抱きしめたい衝動にかられます。

閑話休題、年を重ねることに対する釈迦のこ とばに『学ぶことの少ない者は、牛のように老 いていく。肉ばかり増えて、智慧は増えない』 (ブッダ 真理のことば、佐々木 閑著より引 用)というのがあります。本会は今年創立70周 年を迎えました。戦後の混乱期に創設された本 会は、県民の食生活の質と量の確保と獣医師の 社会的環境の整備を使命として活動を続けてき ました。会員相互による本会の評価は、当然の ことながら称賛と賛美ばかりとなります。この ような自己評価の困難さは、自らを解剖し、あ るいは診断治療することができないことと同様 です。本当の評価は時間と外部評価に委ねなけ ればならないでしょう。とは言え、常に進歩前 進するためにも、生命倫理を踏まえたうえで生 命科学の進歩と地球環境保持への貢献と市民生 活の向上との接点をどのように求めるかという 智慧を生み出すような組織となっているか否か について検証し続けなければなりません。70年 の月日は全てのものに平等に訪れます。釈迦の 言葉を借りれば、学ぶことの少ない組織体は、 牛のように老いて智慧は増えないということに なります。会員の一人一人が、刻苦勉励して初 めてその集合体である本会に智慧が蓄積される ものと信じます。

今年の世相を反映する漢字が『災』と発表されました(公益財団法人 日本漢字能力検定協会より)。地震、豪雨、豪雪、台風などの自然

災害が日本列島を襲うことは度々ありました が、今年もまた北海道胆振東部地震、大阪府北 部地震、島根県西部地震、西日本豪雨、台風21 号、24号の直撃、記録的猛暑などの自然災害に 見舞われました。世の中に起こることには必ず 原因があるといわれています。地震に関しては その発生メカニズムの詳細は明らかになってい ないためにその発生を予測することすら不可能 です。気象災害は地球規模の気象データの集積 から、異常気象の発生するメカニズムの一端が 少しずつ明らかになってきています。気象現象 に太陽の黒点の活動が影響している可能性が指 摘されている昨今では、地球上の気象現象のメ カニズムが明らかになるのは遠い将来と言えそ うです。生命体の生命現象や地球環境の活動メ カニズムなどが今後解明されるとき人類はその 事実とどのように向き合うべきなのか、考えて おく必要があるように思われます。生命科学で は生命倫理の確立、環境科学では環境倫理の確 立が求められます。

21世紀の生命科学は極めて危険な領域に直面 しています。例を挙げれば、救命の名の下に行 われる遺伝子操作や生産性向上を命題として実 施されている遺伝子組み換え技術の応用など人 間の欲望を満たす生命科学の先端技術は倫理観 なしに歯止めはかからない状態となりつつあり ます。生命科学の一翼を担う獣医学徒は倫理を 確立し社会の流れに身を任せる事無く、社会を 正しい方向に導く智慧を提供したいものです。

釈迦の「真理のことば」の中に『頭髪が白くなることで長老になるのではない。ただ年を取っただけの人は、「むなしい老人」と言われる。』という一節があります。我々獣医学徒の一人一人が学び、年を重ね、総和としての獣医師会が智慧を蓄えることにより、社会がむなしい老人の集団にならないように貢献したいものです。年を重ねる年末にあたり、覚悟を新たにし来るべき新年が倫理観確立の一里塚になることを念じつつ会報をお届けします。 (初雁)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

- 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。-

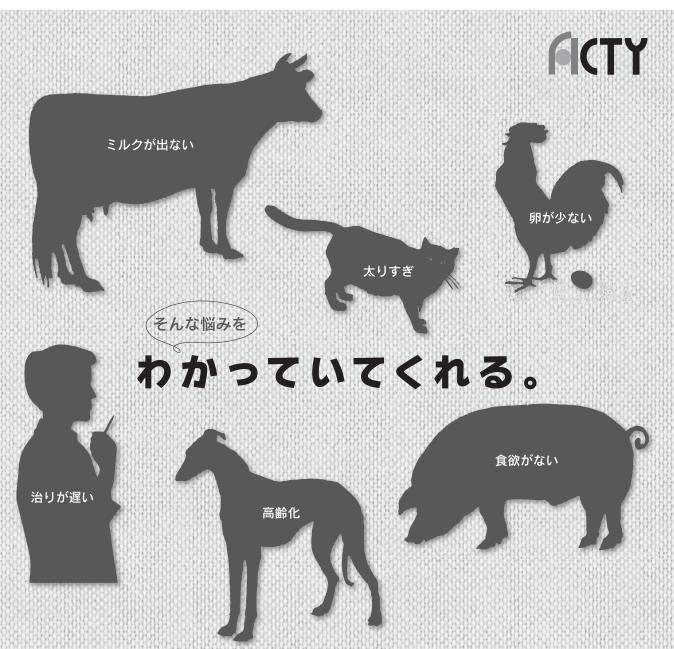
- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、 感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一 つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につなが る。」との考え方(One World-One Health)が提唱され、「人と動物が共存 して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領ー獣医師の誓い -95年宣言 -」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と 獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、 動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与す るとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境(生態系)は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会(WSC)が提唱した。また、国際獣疫事務局(OIE)は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

-3962 -5962

636



アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

ト社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228 TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

小関車党業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井 870 TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

(さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24 TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千莲堂堂所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町 243 TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

【茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1 TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4 TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564

アクティ株式会社

http//www.acty-kk.com